

審議会等の会議結果報告書

課所名

こども課 保育係

会議名 令和5年度 第1回諏訪市保育所専門委員会

開催日時 令和5年10月20日(金) 午前10時～11時50分

開催場所 諏訪市役所302会議室

出席者
 (出席者) 関隆雄委員、宮澤節子委員、宮本幸男委員、島津美穂子委員、
 小池香奈恵委員、柳澤修委員、窪田真弓委員
 (欠席者) 古谷良太委員、野田安則委員、木澤千波委員

 (事務局) 守屋和則健康福祉部長、三村伸彦こども課長、北原潤保育係長、
 柳平亮保育係主査、岩波恵一郎保育係主査

 (傍聴者) 3名(報道含む)

資料
 次第、諏訪市保育所専門委員名簿、保育所専門委員会の役割、保育支援アプリ
 CoDMON、「第三期諏訪市子ども・子育て支援事業計画」の策定(ニーズ調査)について
 (資料1)、福祉大保育園の利用定員設定について(資料2)、「“ひろがる笑顔”ゆめ保育
 所プラン(保育所“笑顔プラン”)」の進行管理について(資料3)

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1. 開会
2. 健康福祉部長あいさつ
3. 選任書交付
4. 自己紹介
5. 保育所専門委員会の役割
6. 報告
 - (1) 保育支援アプリ「CoDMON(コドモン)」の導入について
 - 【事務局より説明】
 - 【委員より】 特になし
 - (2) 「第三期諏訪市子ども・子育て支援事業計画」の策定(ニーズ調査)について
 - 【事務局より説明】
 - 【委員より】
 - ・アンケート調査の最後に子育ての環境や支援に関して意見等を自由に記入する欄があるが、それらに記載された事項も含めて調査結果を専門委員会に報告して欲しい。
7. 議事
 - (1) 福祉大保育園の利用定員設定について
 - 【事務局より説明】
 - 【委員より】
 - ・3歳未満児利用定員24人について、来年度の入園申込状況を含めどのように判断しているか。
 (事務局: 3歳以上児の数は減っている中で、3歳未満児の保育ニーズは高止まりしている状況。
 年度途中の0歳児や育児休業等が終わったの1歳児の受入れ枠が厳しい状況であることから、

受け皿として確保できることは大変ありがたいと判断している。)

(2)「ひろがる笑顔”ゆめ保育所プラン」の進行管理について

【事務局より説明】

【委員より】

- ・民間事業所の参入希望把握のためのサウンディング調査について、保育ニーズをどこまで調査を行うのか。また、継続して調査を行うのか。保育所専門委員会にも結果を報告してもらえるのか。

(事務局: 今回の調査は、あくまで事業構想に対する段階としての調査を想定しており、参入希望や特色ある保育等の提案の可能性を把握するための調査である。また、ある程度期間を設ける中、11月上旬から数か月程度行っていきたいと考えている。結果は、保育所専門委員会にて報告していく。)

- ・保育所“笑顔プラン”の改訂内容等については、どのように市民に公表していくのか。

(事務局: 専門委員会でご審議いただく中で、最終的には、改訂箇所が分かるように、市ホームページ等で公表していく。)

- ・子ども達が健やかに豊かに育ちあえる環境を作るために、保育士確保を含めた保育所適正配置、“ひろがる笑顔”ゆめ保育所プランを早く進めていって欲しい。

- ・どの業界でも人手不足が言われているが、小学校ではコミュニティスクールの取組をしているが、保育園でも地域やボランティアを活性化していくのも一つの考え方である。

- ・例えば、お散歩ボランティアなど、後ろからついて来て見てもらうだけでも助かる。そういう小さなことでも良い。

- ・おもちゃの消毒のお手伝いをやっていたが、本来保育士がやるべき仕事以外のところに時間をとられている。保育士資格がなくてもできる仕事は沢山あると思うので、ボランティアの活用など前向きに考えていただきたい。

- ・プラン改訂について、現在の状況が記載され、より問題点や課題が鮮明になった。本日様々な立場の方から意見が出たのを含めて、今後プランの進行管理に関してどういうポイントがあるのか、どういう課題があるのかということを引き上げて、地域や保護者に説明するというのであれば、その辺を審議しないといけない。

- ・第1期の保育最適化推進期間が2020年度から2024年度となっているが、現在自分の子供が通っている園舎が木造で耐震工事はしているものの、老朽化自体は止められない。冬は寒いし、床張りで感覚過敏な子は冬でも裸足で歩いて、霜焼けになる子もいる。園の裏も山となっておりゲリラ豪雨の心配や道が狭いなど、現状を見ると危ないと思うところは沢山ある。色々な面を検討しながら進めていかなければならないが、期間までに間に合うのかというのが保護者からすると不安がある。

(事務局: これまで懇談会で意見を伺う中で、具体性が見えてこないという意見もあり、また、コロナも重なりプラン進捗に時間がかかっていることから、ある程度具体的なものが出てくれば、それを伝えていく中で議論が深まっていくと考えている。児童数が減少し、施設の老朽化が進む中で、13園を維持していくことは難しいということに加え、もう少し何か訴えるものがあれば良いと考えている。)

- ・小中学校の関係に色々関わっているが、諏訪南中(四賀、中洲)は、これから大変議論が増えてくると思うが、保育園のほうだけ遅れているという印象。ゆめスクールプランと併せて保育園の計画を策定していくほうが、保育園、小学校、中学校を見たら一貫のイメージができる。

- ・保育園も統合すれば、その分規模も大きくなるし、保育士が一つの園に集まれば、人手は増える。保育士もクラスに2人配置可能で、対応が必要な子供がいるクラスにはもう1人プラスで

配置できるとか、そういう部分から始めていくことも必要。保育園のあり方をもスピード感を持って対応していただきたい。

(事務局:委員からも小学校、中学校へのつながりという話もあり、また、子どもの生活圏ごとの単位である程度集約ということを出したほうが良いのではという意見をいただいたので、委員会で合意いただけるのであれば、その辺をプランに謳っていくと、また議論が深まっていくのではと考えている。事務局で案としてプランに入れさせていただいたものを事前に配布し、次回 12 月の保育所専門委員会でご意見を伺うという進め方でよろしいか。)

【委員長より】

・委員の皆様まだ意見があると思うので、改めて資料をご覧ください、意見がある方は事務局へお寄せいただき、それを含めて保育所“笑顔プラン”の修正案を 12 月の保育所専門委員会でご提案いただくということにしたい。

8. その他

次回会議日程 12月22日(金)午前10時を予定

9. 閉会